

がっこう 動物新聞



日本小動物獣医師会版

2014年

第9号 (通算)

おそうじ、うまくできるかな

飼育小屋や飼育ケージのおそうじ、なかなか大変ですね。でも、ウサギやモルモットと触れ合う時間だと楽しみにしているお友だちも多いと思います。

今回は、おそうじが苦手なお友だちにも楽しんでもらえるように、おそうじのポイントをお話しましょう。

おそうじの目的



お掃除のポイント

おそうじに必要な道具はあらかじめそろえておく
マスク、長靴、ほうき、雑巾、バケツ、ティッシュペーパー、タオル、など



飼育舎の場合

床がコンクリートであれば、うんちを掃いたあとで水を流して水切りもしておきます。

飼育ケージの場合

敷いてある新聞紙などを捨てて、底をきれいに拭くか水で洗い、新しい新聞紙を敷きます。

消毒薬を使ってきれいにふき取ることもできます。★消毒液のことは獣医さんに聞いてね

食器の洗い方

残ったエサを捨てて、スポンジで洗います。水入れも同様に洗ってください。給水ボトルもブラシを使って中を洗ってくださいね。きれいになったら新しいエサと水を入れて、いつもの場所に置きます。

きれいになった場面を想像して、必要なものを準備する
新聞紙、野菜、フードなど



掃除の後、床が乾いてから動物をもどす

動物たちを掃除の間、どこに置いておくかも決めておいてね。

●結構大事な大掃除

これらは毎日のお世話ですが、月に一度は大掃除をしたいですね。普段できない壁や天井、ケージの隅のこびりついた汚れを取ったり、壊れた箇所の修理など、お願いします。また、土床の飼育舎の場合は、月に一度は土の入れ替えをしてくださいね。

●消毒薬を使う場合

飼育舎や飼育ケージを消毒するお薬には、直接動物の体につけてはいけなものがたくさんあります。使う場合は、先生の説明をよく聞いて使ってね。

- みんなが決まったやり方でお掃除するようになると、だんだん慣れてきて早くできるようになります。
- うんちの量やエサや水の減り加減もすぐわかるようになりますね。そうすると言葉をしゃべることができない動物たちの変化が誰よりも早くわかり、彼らの健康を守れるようになります。

盲導犬は、目の見えない方、見えにくい方の歩行を誘導します。

補助犬を知っていますか?

介助犬は、手足に障害のある方の日常生活動作や移動を手伝います。

聴導犬は、耳が聞こえない方、聞こえにくい方に必要な音を知らせ、音源まで案内します。



この3つを「補助犬」といいます。

もし町で見かけたら、仕事の邪魔にならないように、心の中で「がんばれ!」と応援してね。

獣医師会は、学校の動物飼育を応援しています。学校で飼育している動物のことならどんなことでもご相談ください。

連絡先

一般社団法人

日本小動物獣医師会

〒105-0014 東京都港区芝2-5-7 芝Jビル5階
TEL 03-5419-8465